

2009年

4月29日(水曜日) - 輝き増進への物心ともの大そうじ 「海岸清掃」 -

本日、京丹後市商工会女性部の池田丹後町支部長さんをはじめのお声がかかりで、丹後町立岩周辺の大量の漂着ゴミの海岸清掃に早朝から地元の関係団体の皆様はじめ広く市内から大勢参集され、願いのこもったたくさんの汗を清掃美化に流していただきました。私は、このことは、観光や地域活性化にとって一番大切な機会をいただけたのではないかと感じています。

というのも、私たち京丹後市には、この立岩をはじめ丹後松島、琴引浜、小天橋など海岸線の景観やそれ以外にも、豊富な温泉、山や里の様々な魅力の原石にあふれていますが、その中で、本日のように、丹後の景観資源を代表する一角の「立岩」周辺の清掃美化を行うこと自体、観光活性化の上で有意義で必要不可欠であります。それとともに、私として、とても意義深く思いますのは、清掃活動を通じて、観光の魅力として本来大切なもの、足元にある宝の原石を、私たちの心の風景の中で知らず知らずのうちにゴミを寄せたりほこりまみれにしていないか、ほこりかぶりでの素晴らしさに気づかないままに放ってあるのではないか、ということに改めてふりかえり、原石の輝きに気づきなおすための心のそうじをさせていただける機会でもあるのではないかと考えています。清掃活動の中で、足元に埋もれているかもしれない本市の多くの魅力の原石をもういっぺん見直し、ほこりを払って一層の素晴らしさへの気づきをいただける、そんないわば心の窓ガラスのそうじにもつながる機会になれば、一層意義深いものとなるのではないかと考えています。私は、本当は、観光資源本来の魅力とともに、そんな物心ともとの掃除の努力を重ねる人々の後ろ姿からにじみ出してくる後光のような魅力でもって、観光や人の交流の活性化が引き寄せられるのではないかと感じています。今日は、本市の観光や地域の活性化にとってとても意義の深い一日となりました。ありがとうございました。